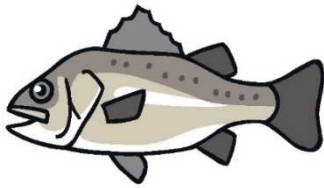


スズキ（東京湾）



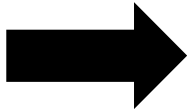
- ・ 漁獲のほとんどが東京内湾・内房海域で、中・小型まき網、小型機船底びき網などで漁獲される（千葉県は全国1位）。
- ・ 東京湾における産卵期は10月下旬～3月上旬で、産卵場は東京湾の湾口部にある。
- ・ 1983年から1998年まで種苗放流を実施し、以降休止。

資源評価

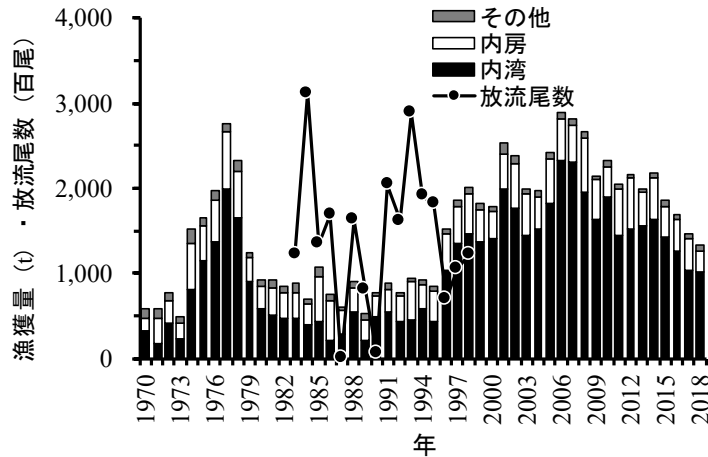
水準：高位



動向：横ばい



漁獲量



すずき類漁獲量と放流尾数の経年変化

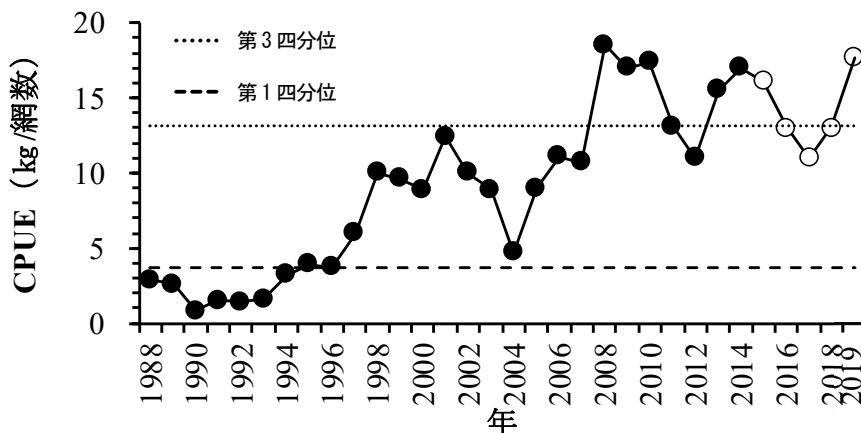
2006年までは千葉農林水産統計年報、2007年以降は千葉県調べ

千葉県におけるすずき類の漁獲量は、1990年代後半に著しく増加し、2006年に過去最高の2,886tとなった後、減少傾向にある。

注) 資源水準は、原則過去20年以上の評価指標値(CPUE)から4分位により評価した。
資源動向は、最近5年間の評価指標の近似式から年間5%以上の増減の有無により判断した。

資源評価の判断

- ・ 資源水準及び動向は、小型機船底びき網の操業日誌から集計したCPUE(1網当たりの漁獲量)で判断した。
- ・ 2019年の資源水準は高位、最近5年間の資源動向は横ばい傾向にある。



小型機船底びき網の標本漁船によるスズキの1網当たり漁獲量(kg/網数; CPUE)の経年変化

資源管理の取り組み

- ・ 東京湾においては、小型機船底びき網で休漁日の設定、操業時間の制限、漁具の制限など、中・小型まき網で冬期の休漁期間の設定など、漁業者による自主的な資源管理が行われている。